

# 観戦記

## 久我山高校ラグビー部 東京都春季大会に於いて大逆転で優勝

2014年5月20日

久我山ラグビー部OB

ペンネーム 春風子 記

2014年5月18日(土)正午過ぎに朝鮮高校グラウンドで行われた目黒学院高校との試合は、劇的な逆転勝利で幕を収めた。今年の日黒学院(以下日黒)はトンガ勢2名を含む三名の外国選手を擁し強力なフォワードを形成して勝ち抜いてきた。一週間前に行われた準決勝の対東京高校戦はあと10分というところで2トライを挙げ逆転勝利をおさめたという。今日の試合(陽射しがきつい、25℃は超えていそう)は開始早々トンガ勢にトライを奪われ、前半を終了してみると5対26という大差であった。しかし後半に入ると久我山高校のフォワードそしてバックスの切れも冴え、ブレイクダウンの連取がすばらしく、3トライ(すべてゴール成功)を奪い同点とした。トンガ勢もぶちかましに来たが、こちらのディフェンスも力強く、ゴールラインを割らせず持ちこたえ反撃に転じノーサイド直前、久我山がペナルティーを得て、右中間22メートルのペナルティーゴールに成功し29対26という得点で勝利を得たのである。前半の反省点はあるが、後半の大健闘は称賛すべきであろう(ちなみに3位決定戦は15-5で東京高校が成城学園に勝利した)

秋の予選では東京高校・日黒学院とは別ブロックとなり、全国大会予選決勝は成城学園が来るであろうが、油断は禁物である。これからは先ず桐蔭学園に、選抜大会で大敗した雪辱を果たし関東大会を制覇し、夏合宿で鍛えに鍛えに、鍛え、全国の強豪チームを撃破して貰いたい。【今年の國學院久我山高校の潜在能力は東福岡に勝るとも劣らない、との評がラグビーマガジン5月号にのっていたそうである】聞くところによると、この春季大会が始まる時は16人ぐらいの怪我人がいたという怪我に強いのも、怪我をしないのも名選手の条件である。ぜひ心していただきたい我々OBは応援しよう! 支援しよう! グラウンドへ行こう! 全国のOB諸君今年のフェスティバルにはどんどん参加し、竹内監督、現役の後押しをしよう!

### 「マコちゃんズ」の独り言

今回は投稿者の《ペンネームで》との希望により、本人・内容を確認の上、掲載致しました

投稿者等と共に決勝戦を応援に行く。前半終了後、今回は厳しいかなと思ながらの後半戦  
24-0と目黒学院を零封に抑え込んだ劇的な勝利に感動するとともに  
猛省

本来劣勢のときこそ、応援する我々は、年かさの我々は、

「持てる力の限りを出す」・「最後の最後まで諦めない」、このような教えをすべきである。  
しかし、それを現役の選手が見事に実行して見せたのである。逆に我々が若い人に教えられたのだ。

グラウンドでプレーする選手は今日試合に出られなかった選手の為にも諦めるわけには  
いかなかったのだ。これこそが真のチームプレーであろう。又、

キックオフ直前の相手チームの雄叫びに、冷静に相対する姿勢、プレーにのみ集中する

我が久我山の品のある試合に 《紳士のスポーツ・ラグビー》 を見た。

品格が風格を作る。中村 誠先生が創り上げた久我山ラグビーその継承者

竹内イズムここに有り

心・技・体。横綱相撲めざし尚の精進を望む。

我々OBは目標達成のために、現役、竹内監督の応援・支援の不言実行有るのみである。